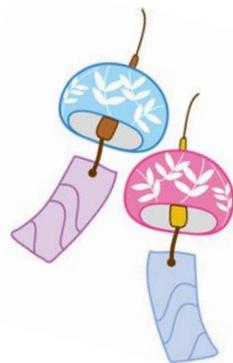




東海大学大学院 2016年度 家族看護研究会



家族看護学研究室では家族看護を様々な理論やツールを用いて分析

今回は、渡辺式家族アセスメントモデルを使って

事例分析します。

事例紹介

ICUに緊急入院した高齢の患者。

手術が必要となったが複数の科が関わり、手術の説明は家族のみにされ、本人へは手術当日まで知らされなかった。

その為、家族も看護師も困惑しており、
看護師は、どのように対応すれば良かったのか

プロフィール: 櫻井 大輔(家族支援専門看護師)
国際医療福祉大学卒業後、県立足柄上病院に入職。
東海大学大学院で家族看護学専攻し、家族支援専門看護師となり
現場で活躍中。現在、各地で家族看護教育普及につとめている。

2016年7月30日 土曜日

13:00~16:00

場所: 大学伊勢原キャンパス 3号館1階会議室

アクセス: 小田急小田原線「伊勢原駅」下車徒歩20分

バス10分(東海大学病院下車)

問合せ先: 0463-93-1121(代表) 担当; 井上

研究会ホームページ: <http://kazokuns.ihs.u-tokai.ac.jp>

メールアドレス: kazoku@tokai-u.jp

